



# 藤本 みのる 通信

Vol 243

2016年11月8日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

## 市内に破砕処理施設が不可欠

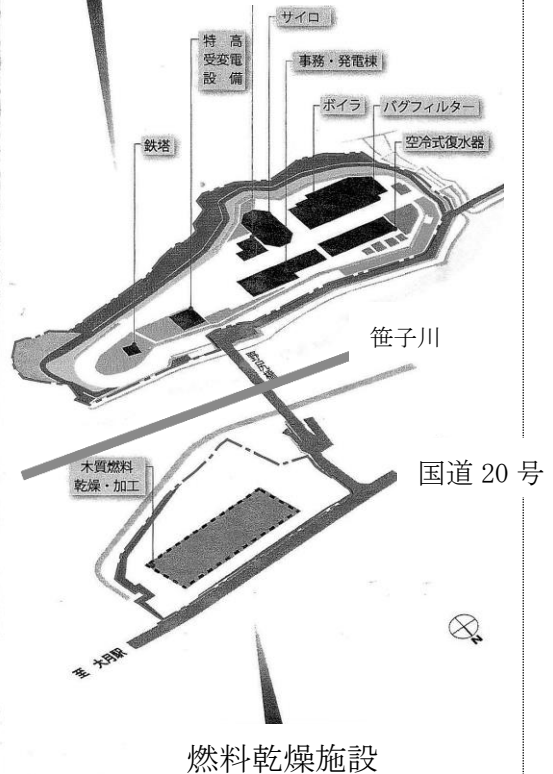
大月バイオマス発電所（大林グループ）の造成・建築工事が進められています。当初計画にあったチップ工場（間伐材等の破砕処理施設）が設置されないことが明らかになったことから、対応が問題になってきました。

9月定例会で市は「事業者に対してチップ工場設置を強く求めていくとともに、協議会においても持続的な林業の循環についての検討を重ねる」と答弁しましたので、私は次のように求めました。「事業者は『山林資源が豊富な大月市で』と、当地を選んだわけですから、間伐材の利用促進への貢献をしっかりと求めていただきたい」。

間伐材の利用促進のためには、最低手間賃が稼げるような事業にしなければなりません。発電所の燃料がチップのみならず、市内に何らかの破砕処理施設を設置しないと間伐材は行き場を失います。地域活性化に結び付けるため、発電事業者に対し相応の負担を求める必要があります。

## 大月バイオマス発電所

（笹子町白野向野尻 1152 他）



燃料乾燥施設

商業運転 平成 30 年 7 月末（予定）

発電容量 14500 k w（30000 世帯/年）

## 【藤本みのる活動日誌】

10月29日(土) 第50回大月市文化祭記念式典

11月 2日(水) 議会基本条例調査特別委員会

11月 9～10日 総務産業常任委員会視察研修(栃木県鹿沼市他)

11月11日(金) 第1回大月市職員福利厚生会スポーツ交流大会